

質問回答

2018年11月12日

【案件名】バヌアツ国地震・津波・高潮情報の発信能力強化プロジェクト

(公示日:2018年10月31日 / 公示番号:180374) について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書第2 6.(1) JCC 開催 支援と進捗説明 P23	議長である気候変動・(中略)、合意を得ること。また、客観的な視点を追加するため、パイロットサイトの市役所、もしくは地方自治体局、及び他ドナーのプロジェクト人員等をオブザーバー等として追加することを検討する。パイロットサイトの市役所職員等がオブザーバーとして JCC 等に参加することを提案する場合、旅費・日当等は、本見積りに計上するのか？あるいは、直営専門家が管理する活動費等により支弁されるか？	本見積への計上は不要です。討議議事録(R/D)にて、C/P の国内移動に係る旅費や日当は先方負担事項としています。
2	業務指示書第2 6.(4) イ)p29	各種メディアを通じ、無償案件及び成果1、2に係る活動の成果を発信する。本活動には、無償案件で整備した地震計及び潮位計に関する啓発用看板の整備も含む。整備を行う「地震計及び潮位計に関する啓発用看板」の整備の枚数および設置場所についての具体的な指示はあるか？	啓発用看板の枚数や観測所内における設置場所については、具体的な指示はありません。機材の設置場所については、公開情報の「バヌアツ国 広域防災システム整備計画準備調査報告書」を参照し、プロポーザルにて提案をお願いします。
3	業務指示書第3 1.(1)業務量の目 途約 55.3M/M	評価対象者とする業務従事者の予定人月数が、全業務量に占める割合が極めて多いが、プロジェクト成果を達成するためより効果的な	評価対象とする業務従事者の予定人月数を37.33M/Mに訂正いたします。

	<p>P33 業務指示書第3 第9の1の2) 「第9の1の2」 評価対象とする業 務従事者の予定人 月数 46.33M/M p7</p>	<p>配置をその理由を付して提案する場合、評価 対象とする業務従事者の予定人月を、評価対 象以外の業務従事者に振り替えることは可能 か？</p>	
4	<p>業務指示書第2 6.(1) 資材の 調達 ウ)震度解析用端 末およびソフトウエ ア(24頁)</p>	<p>震度解析用ソフトウェアの機能について、確 認させてください。 業務指示書には本ソフトに求められる機能の 明確な規定がありませんが、詳細結果策定結 果を読む限り、「既設の強震計3台とブロード バンド震度計1台、および本プロジェクトで導 入予定の強震計10台の測定データから震度 マップを作成する機能」と読めます。その理解 で正しいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>
5	<p>業務指示書第2 6.(1) 資材の 調達 エ)潮位解析用端 末およびソフトウエ ア(24頁)</p>	<p>潮位解析用ソフトウェアの機能について、確 認させてください。 業務指示書を読む限り、本ソフトに求められる 機能は「BOM設置の2台の潮位計からのデ ータをリアルタイムで見るようにする」と 読めます。前回の無償案件で設置された2台 の潮位計測システムからのデータを取り込む 必要もございませんでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおり必要があります。業務指示書の第26(2)(25頁) に記載の「活動1-2リアルタイム潮位観測網の強化」を(2)の とし、(3)の記載とあわせ、前回の無償案件で設置された2台の 潮位計に加え、バヌアツ周辺国に設置されている潮位計データ(対 象とする潮位計はプロジェクト開始後にC/P機関との協議にて決 定)も取り込み、津波、高潮成分を迅速に比較・解析できるよう、2 観測点以上の潮位計データの推移を1台のディスプレイに表示す る機能を有するソフトウェアとします。</p>